

標準施工要領書

カチモルハード

昭和電工建材株式会社

建設資材営業部

〒221 - 0024
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町 2 - 1
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

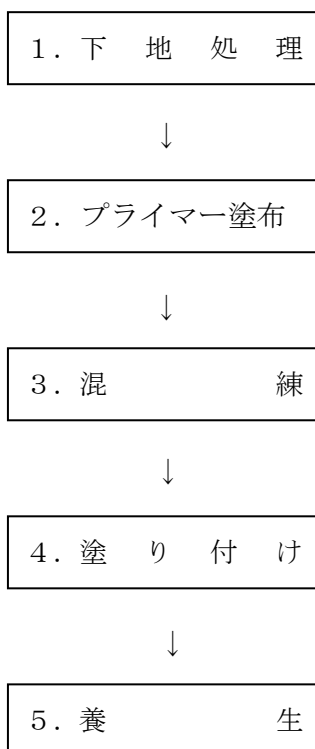
1. 用途

コンクリート欠損部補修
モルタル欠損部補修
(標準塗厚：5～60mm)

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
カチモルハード	20kg／紙袋	カチオン粉末樹脂入り完全プレミックスモルタル

3. 施工順序



施工手順

1 下地処理

- ◆ 下地のレイタンス、脆弱層、油分、汚れ等を、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で適切に除去してください。
- ◆ 鉄筋が露出して発錆している場合は、ワイヤブラシ、研磨紙等で除去し、防錆処理としてタイトメント#100(ノロ)を刷毛で塗布してください。

2 プライマー塗布（吸水調整材）

- ◆ 下地乾燥後、必ずプライマーとしてハイモルエマルジョン 5 倍液をむらなく塗布してください。

※ ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

※ 夏場等、吸水が著しく激しい場合には塗布回数を増やしてください。

3 混練

	配合	重量比	標準練り上がり量
カチモルハード	20kg/袋	100	約 11ℓ/袋
水	約 3.2ℓ	16	

- ◆ カチモルハードは、カチオン系特殊粉末樹脂が既調合された、完全一材型の製品です。
- ◆ 所定量の水（約 3.2ℓ）を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらカチモルハードを徐々に加え、十分に練り混ぜ後（約 3 分）、施工軟度に調整してください。
- ※ 強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。
- ※ 加水後の材料は、夏季 40 分以内、冬季 60 分以内に使い切り、練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

4 塗り付け

- ◆ 下地に対し鍔圧を十分にかけ、厚さ「2～3mm」程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けてください。
- ◆ 塗厚の目安は、1日あたり30mmを限度として1回あたり5～10mmの間で塗り重ねてください。
- ※ 塗厚30mmを越える場合には、2日以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔、夏季1日以上、冬季3日以上を目安としてください。
- ※ 壁で深さ60mm以上あるいは0.3㎡以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン、ステンレス線を併用してください。
- ※ 用途につきまして、ご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。

5 養生

- ◆ 仕上げ材施工までの養生期間は、7日（冬季10日）以上としてください。
- ◆ 通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生をおこなってください。
- ※ 施工後、降雨、降雪のおそれがある場合は、強度不足、白華(エフロ)の原因となりますので、シート掛け等を行ってください。

6 使用上の注意

- ◆ 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖をおこなってください。
- ◆ 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- ◆ 雨露のかからない湿気の少ない所に保管し、地面に直接放置しないでください。
- ◆ 購入された製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内に使用しきってください。

＜その他注意事項＞

取扱及び応急処置

- 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱は換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 使用後の器具類は早めに水洗いしてください。
- 応急処置

目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合	直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
誤って飲んだ場合	大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

製品の保管

- 雨、露のかからない湿気の少ない所に保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内に使用しきってください。

製品の輸送

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。積み下ろしも同様に願います。また、湿気、水漏れに注意してください。

製品・梱包の廃棄

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

漏出時

- 飛散した粉は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

以 上